

宮崎南支部分科会

衰退した観光地「青島」を  
外国人も注目するリゾート地としての再生へ

～地元・移住者それぞれが取り組む青島の未来～

10  
11  
水  
15:30~19:00

パネリスト



有限会社宮崎潜水 代表取締役  
田中智史氏(宮崎同友会)



地域食堂うみさちやまざち 代表  
田中千弘氏



青島神社 宮司  
長友安隆氏

コーディネーター



株式会社・Roots 代表取締役  
山根尚氏(宮崎同友会)

昭和30年代後半から50年代初めにかけて、空前の新婚旅行ブームに湧いた青島は、その後、観光客がピーク時の半数にまでに激減。そんな中、平成19年に宮崎市が、参道の空間整備やマリンスポーツの誘致など、青島の活性化対策を具体的に盛り込んだ「青島地域活性化基本計画」を策定。青島神社の長友宮司も加わり、官民一体のプロジェクトメンバーたちが10年計画で青島の再生に尽力してきました。

その努力の甲斐あって、観光客も増え、さらに田中氏を始めとする県外移住者が出店するなど、令和の青島は外国人からも注目される観光地へ生まれ変わろうとしています。

地元・移住者たちそれぞれが取り組む青島の未来について交流し、自社でも新たな価値を創造していくためには、何を考え、何をしないといけないのかを学びあひましょう。

分科会終了後、同会場で懇親会を行います。懇親会参加の有無は申込用紙にご記入ください。

きりしま支部分科会

本気でつくる。持続可能な企業や街を!

～若者がいなくなった街。その時、自社はどうなる?～

10  
13  
金  
15:00~19:00

有限会社英設備工業  
代表取締役  
荒川雅光氏  
(福岡同友会)



田川市建設経済部  
産業振興課 課長補佐  
平塚幸雄氏



福岡県中部に位置し、人口45,619人、面積54.55平方キロメートル。炭坑節発祥の地である田川市は採炭が活発だった1955年の人口は10万人を超えていた。エネルギー革命によって、1970年にすべての炭鉱が閉山すると人口が減少。2015年「田川市中小企業振興基本条例」制定。翌2016年「田川市産業振興会議規則公布」

創業/1994年 年商/1億5,960万円 社員数/8名  
URL/<http://hanabusa-setsubi.co.jp/>  
事業内容/各市町村上下水道施設工事、浄化槽工事、管工事、給湯工事、新築・リフォーム工事、機器販売、外構・造成工事等

いま地域から若者が急速に減っています。若者が生まれ育った地に見切りをつけ、外へ外へと向かっているのです。私たち中小企業家が、早急に行政や他団体、金融・教育機関、地域の人々と共に地域の課題に向き合い未来を描かなければなりません。それをささえるのが中小企業振興基本条例です。

田川市では2015年「田川市中小企業振興基本条例」を制定し、翌年に産業振興会議(円卓会議)を立ち上げます。この円卓会議の取り組みから、条例を基に地域の課題を見つけビジョンを描き、産・学・官・金と共に市民が未来を描きあう姿が見えてきます。

私たちの街の「中小企業振興基本条例」制定に向け、田川市の実践に学び、未来を変えていく第一歩としていきたいと思います。若者が、わくわくする街へ、さあ発進です。

分科会終了後、同会場で懇親会を行います。懇親会参加の有無は申込用紙にご記入ください。

宮崎北支部分科会

理想を追い求め、現実を変える

～同友会で学び、実践し、売上2.8億円から16.6億円に～

10  
16  
月  
17:00~20:00

『何のために同友会で学ぶのか?』を自問自答し10年、見えてきたのは、「自らが理想とする会社、人生を実現したいから。夢を叶えたいから」ということ。しかし、目の前には、そう

ならない厳しい現実があります。

人生は砂時計。残された時間は刻一刻と減っていきます。それでも「社員の笑顔が見たい、お客様の役に立ちたい、地域に貢献したい」という理想を追い求めることでしか、現実を変えられない」と、同友会で役を受け、学びを深め、実践をしてきました。

第50回青年経営者全国交流会in兵庫の実行委員長もつとめ、まさに全国同友会会員の中でも圧倒的に「同友会運動と自社経営は不離一体」を体現しているお一人です。自社をよりよくしたい! そのための新たな気づきと発見、そして即実践したくなる学びを掴み取る分科会です。



日新産業株式会社 代表取締役社長  
橋崎牧人氏(兵庫同友会)

創業/1962年 年商/16億6,000万円  
社員数/40名(うちパートアルバイト3名)  
URL/<https://www.nishshinsangyo.co.jp/company/>  
事業内容/鋼板の加工販売業

分科会終了後、会場を移動して懇親会を行います。懇親会参加の有無は申込用紙にご記入ください。

県北支部分科会

なぜ、障がい者雇用をする中小企業は  
業績を上げ続けるのか!

～人を生かすダイバーシティ経営の実践～

10  
18  
水  
15:30~18:30

宮崎同友会経営フォーラム初のダイバーシティ分科会です。

「ダイバーシティ(Diversity)」とは、直訳すると多様性を意味します。少子高齢化の時代に合って、中小企業においても女性・高齢者・障がい者・外国人といった多様な人材の雇用と戦力化は急務です。

ATUホールディングスは、社員58名、障がい者雇用率6割でありながら、創業以来黒字を続けています。2019年には人を大切にする経営学会の「第10回日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の審査委員会特別賞を受賞。警備業からは初めてことで注目されました。

人をコストとみなした従来型経営の限界に気づき、人を大切にする・人を生かす経営を本気で実践しています。警備業では障がい者を雇用できない、障がい者はタイプ・コスパが悪いといった世の偏見を打ち壊す実践報告です。



ATUホールディングス株式会社  
代表取締役  
岩崎龍太郎氏(福岡同友会)

創業/2012年 年商/1億5,000万円  
社員数/58名(うちパートアルバイト1名)  
URL/<https://atu.co.jp/>  
事業内容/警備業

分科会終了後、同会場で懇親会を行います。懇親会参加の有無は申込用紙にご記入ください。